



しあわせ信州

お問い合わせ

長野県北安曇地方事務所 地域政策課

電話 0261(23)6500(直通)

平成29年4月から 県の現地機関が変わります



長野県PRキャラクター
「アルクマ」
©長野県アルクマ

地域で生じている課題や県民ニーズを的確に把握し、スピード感をもって主体的・積極的に課題解決に当たるため、「地域振興局」を設置します。

北安曇地方事務所は、 北アルプス地域振興局になります。

◇変更点

【地方事務所】 ⇒ 【地域振興局】

地域政策課 → 総務管理課（パスポート、防災、NPO法人関連業務など）
→ 企画振興課（地域課題窓口、地域発元気づくり支援金など）

税務課 → 【中信県税事務所大町事務所】（独立した現地機関として設置）

商工観光建築課 → 商工観光課（商工業、観光、産業保安など）
→ （建築関係の業務は【大町建設事務所 整備・建築課】へ）

* 上記を除き、地方事務所の業務は地域振興局が引き継ぎます。



地域振興局長が地域の現地機関のリーダーとなり、関係者が連携して、より活力のある地域づくりに向けて努力します。

皆様からご意見をいただく機会を積極的に設けます。

北安曇農業改良普及センターは、 北アルプス農業改良普及センターと名称が変わります。

より多くの方に「大北地域」をイメージしてもらえるよう、「北アルプス」を現地機関の名称としました。

地域振興局の設置について、Q & Aでお答えします。

Q 現地機関の見直しの必要性は？

- A 広大な県土と多彩な市町村から成る長野県が、地域の強みや特性を最大限に活かした地域振興を進めていくためには、これまで以上に県の現地機関が連携し、主体的、積極的に地域課題の解決に当たっていくことができる体制を構築することが必要と考えます。
- 新設する地域振興局は、知事・副知事に直結する組織とし、地域振興局長がリーダーシップを発揮しやすいように、横断的な課題について現地機関を統括・調整する権限を付与するとともに、政策づくりや現地機関相互の調整を担う企画振興課を新たに設置し、スピード感をもって地域課題の解決に当たります。

Q 地域課題の解決に取り組む予算の確保は？

- A 予算面では、新たに総額1億円の「地域振興推進費」を創設し、「地域発 元気づくり支援金（総額8億5千万円）」と合せて、地域振興局長が主体的に執行できる予算を充実します。
- 新設する「地域振興推進費」は、地域振興局長のリーダーシップの下、各現地機関が連携して、これまで以上に主体的・積極的に地域課題の解決に当たることができるよう、地域振興局長自ら考え執行できる予算として新設するものです。

Q 人員配置は？

- A 地域振興局に新設する企画振興課に、新たに2名の職員を増員配置（県全体では20名の配置）し、地域独自の政策・事業づくりや現地機関相互の調整を行います。

阿部長野県知事から（長野県議会2月定例会議案説明）

地域振興局長には、地域の重要な横断的課題について指導力を発揮し、現地機関を統括してもらうとともに、企業（民間）、非営利組織（市民）、行政（公共）という三つのセクターの垣根を越えて協働を進めるいわゆるトライセクターリーダーたる心構えを持って、積極的に地域・現場に出向き、県民の皆様と交流し、その声に耳を傾け、「共感と対話」、「県民参加と協働」の県政を主体的に担ってほしいと考えています。また、部局長会議に地域振興局長を参画させることにより、地域の実情をこれまで以上に組織全体が共有し、県政推進に活かしてまいります。